

西 ～にし～

Good News

■府中けやきの森学園「児童が楽しく学ぶプログラミング教育」

本校肢体不自由教育部門の小学部に準ずる教育課程では、全ての学年で教科等の学習にプログラミング教育を効果的に取り入れるため、年間指導計画に位置付けて実践に取り組んでいます。

学年	教科等	単元名	ねらい
1・2	図画工作	みらいのはなばたけ	LED ライトを光らせて花畑を作る。LED ライトのプログラムは、信号などに使われていることに気が付き、生活に身近なプログラミングの仕組みを知る。
3・4	総合的な学習の時間	ロボット競争	楽しくロボットを使った簡単なゲームに取り組むことで、プログラミングすることの楽しさを実感し、やりたいという意欲をもつ。
5・6	総合的な学習の時間	自動運転で動物園に行こう	日常生活が便利になることに、プログラミングが役立つことに気が付き、自分の生活や社会をよりよくする視点とプログラミングを関連させて考える。

10月21日（金）、4年生の総合的な学習の時間では、ロボットに障害物をよけてゴールするようプログラミングする「ロボット競争」の単元に取り組みました。

授業の導入では、アンプラグドを実施しました。アンプラグドとは、コンピューターの基本原理を児童に分かりやすく学ばせることを目的としたメソッドです。本時では、ロボット役の教員が障害物を避けてゴールできるよう、児童が言葉で「命令」することを通して論理的思考の基礎を学びました。

展開では、アンプラグドで学んだ「命令」する言葉を、GIGA 端末でロボットを動かす「命令」に置き換えるコーディングに取り組みました。児童同士で、互いのロボットがどのような「命令」で動いているのかを確認し、試行錯誤しながらコーディングを完成させました。自分の思い通りにロボットが動いたときは、ガッツポーズで喜びを表現していました。

本校では、知的障害教育部門においても、プログラミング教育の実践を進めています。今後、両部門間の実践事例を共有・検証して、児童・生徒が論理的思考を向上させられるよう、一層の指導の充実に努めます。

（指導教諭・山下 さつき）



ロボットの動きを確かめる様子

令和3・4年度のGood Newsは、以下の掲示板上からご覧になれます。

[【令和4年度GoodNews】](#)

[【令和3年度GoodNews】](#)